

令和 6年度 自己評価表

1 教育・保育理念

乳幼児期は、人間として心と身体の基礎のできる大切な時期です。子供達は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、育てられるように、よい環境のなかで保育をします。

教育・保育方針

健全な心と身体の発達を促す保育を実施します。

教育・保育目標

○自然を大切にし親しむ ○人の話を聞いて理解する ○自分で考えて行動する
○たくましい心と身体をつくる ○挨拶ができる

2 自己チェックリスト

十分できている4 ほぼできている3 やや不十分である2 不十分である1

			実施月		
			6月	11月	2月
1	基本姿勢	就業規則などの規則を理解し、こまめに報告・連絡・相談・確認を実践し職員間の共通理解を図っている	2.7	3.1	3.1
2		体調を整え、自分自身が楽しんで保育している	2.5	2.8	3.0
3		自分自身の資質向上を目指し、積極的に研修に参加したり保育技術が向上できるよう日々研鑽したりしている	2.5	2.8	2.9
4		園の教育・保育理念や目標を理解している	3.2	3.1	3.2
5	保育内容	園児との信頼関係を築き、子供が遊びこめる環境を整えている	2.4	2.9	3.1
6		乳児は愛着関係をもとに自立に向かうことを考慮し、一人一人が安心感と信頼感をもって体験を十分積み重ねられるようにしている	2.8	2.8	4.9
7		満3歳未満児の園児については睡眠時間などの個人差を配慮するとともに、満3歳以上児の園児については集中して遊ぶ場と家庭的な雰囲気の中でくつろぐ場との適切な調和を工夫している	2.9	2.9	2.9
8		園児の発達及び活動の実態などを個人差を踏まえるとともに一人一人の気持ちを受け止め援助している	2.9	3.0	3.1
9		園児が自ら周囲に働きかけ試行錯誤しつつ自分の力で行う行動を見守りながら適切に援助している	2.9	3.0	3.1
10		園児の発達の連続性を理解し、職員間同士で子供の姿の振り返りを行っている。	2.6	2.9	6.7
11		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の項目を意識して保育している	2.4	2.8	2.8
12		自然を大事にし、園児が季節感を感じられるよう環境を整えたり、季節の歌を歌ったりしている	2.9	3.1	3.2
13		YYプロジェクトを理解し、普段の保育の中にも4つのスイッチや開花の法則を意識して保育内容に取り入れている	2.4	4.6	2.8
14		園児の家庭環境や国籍、文化の違いを認め互いに尊重する心を育てるようにしている。また、性別による固定的な意識を植え付けることの無いようにしている	2.9	3.0	3.1
15		園児を一人の人間として尊び、不適切な保育にならうように気をつけている	2.9	3.0	2.9
16	障害児保育	発達障害について理解を深め、その特性を理解して子供が困らない環境を整え援助している	2.6	2.8	2.9
17		発達障害児の専門機関との連携を把握し、必要に応じて保護者に紹介している	2.6	2.7	2.8
18	健康・安全	園児の心身の状態に応じた保育を行うため、園児の健康状態や発育及び発達の状態について定期的・継続的に、また、必要に応じて随時把握している	3.1	3.0	3.1
19		季節の感染症の理解を深め、感染症の発生予防に努めている。又発生の疑いがある場合は迅速に保護者や全職員に知らせ予防などについて共通理解を図っている	3.1	3.1	3.1
20		園児が持病を持っていた場合、保護者と連携を図り、園児が安全に安心して過ごせるような配慮をしている	2.9	3.0	3.0
21		園内の適切な環境の維持、施設内外の設備、用具などの衛生管理に努め、不具合があった場合すぐに報告をしている	3.1	3.1	3.1
22		アレルギー疾患を有する園児に対して適切な対応をし誤食防止に努めている	3.1	3.1	3.2
23		食事のマナーを伝えながら、園児が楽しくおいしく食事が出来るよう努めている	3.0	3.1	3.2
24	保護者支援	保護者が子供の成長に気が付き子育ての喜びを感じられるように努めている	2.8	3.0	3.0
25		苦情やクレームがあった時にはまず相手の気持ちをまず受け止め、相互理解に努めている	2.8	2.9	2.9

3 自己評価について

自己評価の低い項目に対し、優先順位をつけて評価改善に取り組んだ。OJT、外部・内部研修等を適宜組み併せて取り組んだ結果、年度の後半にかけて評価数値の上昇がみられた。

4 今後取り組むべき課題

外部・内部の研修に参加しなくても自己評価の改善が期待できる項目については、面談の際に職員への意識を行い、日々の業務を通して改善に取り組むことを推し進めたい。